

11月の園だより

2018年11月
吉野幼稚園
園長 郡山 健次郎

主 題：感謝する

聖書の言葉：「成長させてくださったのは神です」

(第1 コリント3：6)

———— ☆ ————— ☆ ————— ☆ ————— ☆ ————— ☆ —————

毎月、お便りの冒頭にのる聖書の一節は興味ふかいものが多いのですが、今月のものには少し説明を加えたいと思います。

パウロの時代(紀元60年代)都市国家として栄えたギリシャの町コリントにもキリスト信者の一団が生まれました。かつては、キリスト教徒の迫害者として名を馳せたパウロの尽力によるものでした。しかし、間もなく、信者たちが2つに分裂して対立するようになりました。つまり、信者になる時パウロにお世話になった人は「私はパウロ派」と言い、アポロにお世話になった人は「私はアポロ派」という具合にです。

旅先でそのことを知らされたパウロはコリントの信者たちに宛てて長い手紙を書きます。パウロは信者たちを説得するのに、植物の成長を引き合いに出します。「わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させてくださったのは神です。」

今月のみことばの背景には、キリスト信者にはなったものの別れ争うというキリストの教えとは真逆の現象が起こったことに対してパウロが説得する手紙をしたためたという経緯があります。ここでパウロは、「キリストのもとでは、だれが一番の功労者かということが問題ではなくみんなが平等であること、何よりも大事なことは『神様のおかげで今がある』ことを肝に銘じて生きることが大切だ」と教えることで一致の回復を目指したわけです。

それぞれ違うということは、神様からそれぞれ違う使命を受けているということであって、モンテッソーリ教育はまさにこの違いを神様から特別に頂いた個性として受け止め、大切に育てようとしています。また、子供たちが、争いではなく、むしろ、お互いに感謝しあいながら生きることこそ人間らしい姿であることを日々の園生活を通して学んでいって欲しいと思っています。

23日は勤労感謝の日です。周りの人々に感謝することはもちろんですが、「マリア様、今日も一日お守りくださってありがとうございます」と祈る子供たちとともに、見えないお方への感謝の心も大切にしたいと思います。今月の主題は「感謝する」です。